

平成14年度事業の概要

1 常 設 展 示

常設展示を構成する資料

区 分	実 物 資 料 及び標本類	ジオラマ機器 模 型 類	カ ラ ー 透 視 写真及び写真	図 板	計
地 学	457 点	20 点	34 点	51 点	562 点
生 物	972	86	67	68	1,193
歴 史 ・ 民 俗	1,262	68	55	58	1,443
美 術	326	—	3	5	334
合 計	3,006	174	159	182	3,521

(1) 地学・生物展示室 (515㎡)

<地 学>

- 本県の地形と地質の全貌と特徴を模型で展示。
- 郷土の生いたちについて、本県産の岩石や化石などによって解説。
- 本県及びその周辺で産出した化石と各地質時代の化石（三葉虫、アンモナイト、タルボサウルスほか）の展示。ナウマンゾウとアジアゾウの全身骨格並びにゾウの進化に関する展示。
- 古生物を中心にした各地質時代の景観復元ジオラマ7景の展示。
- 本県で産出した鉱物及び本県以外で産出した基本的な鉱物（水晶、方解石、ザクロ石、黄鉄鉱等）を展示。
- 砂丘風紋を中心とした微地形の展示。
- 紫外線の照射による蛍光を発する鉱物の展示。
- 砂丘と大山の地質的特徴とその形成過程を解説展示。
- 人類の進化についてレーザーディスクによって解説。
- 館蔵資料紹介コーナーを設置。

<生 物>

- 大山と砂丘の生物の垂直分布や水平分布の状態とその特性を解説展示。
- 中国山地の代表的な植生景観と動物の生態展示（ジオラマ）。
- 日本海に生息する大型動物（ダイオウイカ、オウギハクジラ、ネズミザメ、マンボウ等）の解説展示。
- 頭足類、甲殻類、魚類の分類と生態を解説展示。
- ハチュウ類の分類展示。
- 両生類の分類展示。オオサンショウウオの発育過程と飼育の展示。
- 水生小動物の飼育展示。
- 鳥類の生息環境による分類と生態を解説展示。
- 哺乳類の分類展示。
- 山陰沿岸の貝類の分類と生態を解説展示。

- 昆虫の生活様式による分類と生態を解説展示。
- 郷土の植物の分類展示。
- 樹幹とキノコの生態展示。
- 動物の行動や植物の生育環境をレーザーディスクによって解説。
- 山陰沿岸に産する海藻の代表種の展示と生態的役割の解説展示。
- 日本近海に生息する（鳥取県に漂着した）ウミガメ類の解説展示（アオウミガメ・タイマイ等）。

<自然資料紹介コーナー>

●日本の桜	平成14年2月19日(火)～4月21日(日)
●カンガルーのふしぎ	平成14年4月22日(月)～6月30日(日)
●ウマの進化	平成14年7月2日(火)～9月1日(日)
●夏休み自由研究「シダの研究」	平成14年7月26日(火)～8月25日(日)
●鳥取県の貴重な植物	
ーレッドデータブックととりの植物ー	平成14年9月3日(火)～10月27日(日)
●石のふしぎ発見	平成14年10月28日(月)～12月23日(月)
●世界のチョウーその美しさと分布ー	平成14年12月25日(水)～平成15年2月23日(日)
●浮き袋をつけた海藻ーホンダワラの仲間ー	平成15年2月25日(火)～4月20日(日)

(2) 歴史・民俗展示室 (515㎡)

<狩猟から農耕へ>

- 縄文時代の遺物（土器・石器・骨角器）と生活の解説展示。
- 弥生時代の遺物（青銅器・土器・石器）及び文化交流などの解説展示。

<古墳とその時代>

- 古郡家1号墳をはじめとする古墳の一括資料の解説展示。
- 本県で出土した須恵器の分類展示。
- 重要文化財伯耆長瀬高浜遺跡出土はにわなど、本県で出土した代表的なはにわの展示。
- 銅鏡・各種玉類・武具・馬具などの展示。
- 梶山古墳彩色壁画のカラー写真パネルと出土遺物の展示。

<奈良・平安の因伯>

- 古廃寺出土の軒丸瓦・仏足・瓦経などの展示。
- 上淀廃寺出土壁画の彩色復元（レプリカ）の展示。
- 伯耆国分寺跡出土の風鐸の展示。
- 経筒等経塚出土品の展示。
- 国宝三徳山三仏寺投入堂模型（10分の1）。
- 因幡国庁出土の墨書土器・緑釉陶器等の展示。
- 平城宮出土の木簡（レプリカ）の展示。
- 伊福吉部徳足比売骨蔵器（レプリカ）の展示。
- 時範記（複製）などの展示。
- 国宝・伯耆一宮経塚出土の経筒（レプリカ）の展示。

<戦乱の時代>

- 因伯の荘園と武士団の分布図及び伯耆国河村郡東郷庄下地中分図（模写）の展示。

- 中世遺跡出土の青磁香炉・青磁盤等の展示。
- 山名時氏安堵状（複製）・足利義政御教書（複製）・室町幕府引付頭人奉書（複製）等の展示。
- 梵鐘二口（廃阿代寺・国英神社）・印賀宝篋印塔（レプリカ）の展示。
- 楞嚴寺文書（写真パネル）を展示し、中世の「命令の伝達」について解説。

<土農工商の社会>

- 吉川元春寄進状・亀井茲矩書状などの展示解説。
- 鳥取城模型、鳥取城下図（模写）、鳥取城瓦など鳥取城関係の展示。
- 池田光仲肖像（写真パネル）・書画をはじめ鳥取池田家の解説展示。
- 在方諸事控・万控帳など鳥取藩政資料の展示。
- 家老所用籠など籠の展示。
- 参勤交代図屏風などによる参勤交代に関する展示。
- 鳥取藩の藩札と近世の貨幣などの展示。

<因州藩から鳥取県へ>

- 最後の藩主池田慶徳の肖像写真パネルの展示と解説。
- 池田慶徳・徳川慶喜宛徳川斉昭書状で、鳥取藩と幕府との関係を展示解説。

<生活の中の道具>

- 江戸時代末期から明治時代にかけて分布した広間型農家の一部を復元し、生活用具を配して展示。

<伝え継ぐ心>

- 年中行事、県内の代表的な民俗行事を季節により写真と資料によって解説展示。
- きりん獅子・郷土玩具などの芸能娯楽用具を解説展示。
- サネモリさん・クチナワさん・サイノカミさんなどの民間信仰の展示。
- とんどう・双盤念仏・綱引き・亥の子などの民俗行事をVTRによって紹介。

<歴史の窓>

●護符 ー天井裏の神仏ー	～5月12日(日)
●岡崎平内家の資料	平成14年5月14日(火)～6月30日(日)
●絵図から見る鳥取城の内側	平成14年7月2日(火)～9月1日(日)
●浮世絵の中の鳥取	平成14年9月3日(火)～11月4日(月)
●鳥取県の無形文化財 ーかすりと製紙ー	平成14年11月6日(水)～12月28日(土)
●門松としめかざり	平成15年1月7日(火)～2月2日(日)
●宇倍神社社家・伊福部家資料	平成15年2月3日(火)～3月16日(日)
●新収蔵資料ー引札・絵はがきー	平成15年3月18日(火)～

(3) 近世美術展示（美術展示室260㎡）

- 平安時代からの江戸時代の県指定保護文化財の仏像等を展示。
- 江戸時代の鳥取藩絵師等の掛軸・屏風等を展示。

主な展示資料（○印は鳥取県指定保護文化財）

<近世絵画>

遊鯉図	土方 稲嶺	館 蔵	瀧に鳩之図	土方 稲嶺	館 蔵
狗子図	"	"	霽香花下悠々之図	"	"
猿鹿図屏風	"	個人蔵	山水花鳥図	"	"
牡丹孔雀図	"	"	林和靖愛鶴図	"	"

太公望龍虎図	土方 稲嶺	館 蔵	官女図	沖 一峨	館 蔵
芭蕉と蝸牛の図	"	個人蔵	家翁西京舞妓図	"	"
牧童	"	館 蔵	松鶴図	"	"
風雪三顧図	"	"	日ノ出鶴亀	沖 一峨	個人蔵
山陰雪夜図	"	"	遊亀図	"	"
軍鶏図	"	個人蔵	舟曳之図	"	"
牡丹小禽雙鳩図	"	"	浦島と亀	黒田 稲阜	"
牡丹猫図	"	"	童子と牛の図	"	"
猿の図屏風	"	"	稚童遊戲図	"	館 蔵
遊鶴の図	"	"	鶉の図	"	個人蔵
虎之図	片山 楊谷	館 蔵	鶴亀図	"	"
花王獸王図	"	"	牡丹猫図	"	館 蔵
滝虎図	"	"	牡丹孔雀図	"	館 蔵
梅に錦鶏鳥	"	個人蔵	花鳥図	"	個人蔵
諸葛孔明図	"	館 蔵	牡丹小禽図	"	"
菊慈童図	"	"	花鳥之図	"	"
関羽・張飛図	"	"	鶉の図	"	"
寿老人	"	個人蔵	鯉の図	小畑 稲升	"
東方朔図	"	館 蔵	虎に紅葉の図	"	"
福祿寿図	"	"	観月図	"	館 蔵
楊貴妃図	"	個人蔵	雲竜図	"	自得寺蔵
山水図	"	"	花鳥図	"	"
花鳥図	島田 元旦	"	四季花鳥図	"	個人蔵
四季花鳥図	"	"	芦に飛鯉	"	"
菊に小犬図	"	館 蔵	遊鯉図	"	"
青緑山水図	"	"	梅花百鳥双鯉図	"	館 蔵
月夜訪孔明図	"	"	四季花鳥図	"	個人蔵
仙境雅会図	"	"	群鯉図	"	"
楊貴妃図	"	個人蔵	大黒天七五三の図	根本 幽峨	"
寿老左右草花と花鳥	"	"	尚館神殿奉安聖像	"	館 蔵
東方朔八千歳福寿之図	"	館 蔵	楠公之図	"	"
孔明図	"	"	能姿図	"	個人蔵
紫式部・清少納言図	"	個人蔵	楼閣山水図	"	"
花鳥図	"	"	紫式部・清少納言図	"	"
芙蓉に群鴨図	沖 一峨	館 蔵	小松引之図	"	"
四季草花之図	"	個人蔵	白河入城図	"	館 蔵
四季草花図	"	"	孔明図	"	"
綿ノ木	"	"	琴棋書画図	"	"
合戦図	"	館 蔵	淡青緑山水図	"	"
勿来関図	"	個人蔵	瀑布図	"	"
宇治川先陣図	"	"	墨画卷物	"	個人蔵
建武元勲図	"	館 蔵	女酒宴の図 極彩色	"	"
八幡公宗宗図・鷲見安款賛	"	"			

<宗教美術>

○稲荷像	木喰 明満	神庭神社	毘沙門天立像	不 詳	個人蔵
○蔵王権現立像	不 詳	奉賛会蔵	○狛犬	"	姫宮神社蔵
○大目如来坐像	"	観照院蔵	○擬宝珠	"	地藏院蔵
		長砂地区蔵			

<工芸>

白磁四耳壺	不 詳	個人蔵	竹林鶏螺鈿卓	不 詳	館 蔵
備前焼壺	"	地藏院蔵	鯉蒔絵棗	不 詳	"
備前焼壺	"	個人蔵	堆朱棗	"	"
楼閣人物螺鈿卓	"	館 蔵	忍冬蒔絵棗	"	"
舟遊螺鈿机	"	"	虫尽棗	宗 秀	"

松鎌倉彫筆	不 詳	館 蔵	色絵花鳥文皿	不 詳	館 蔵
山水人物漆絵箔絵筆	〃	〃	色絵松竹梅文皿	〃	〃
龍仙人鬼箔絵筆	〃	〃	楼閣山水人物螺鈿四方盆	〃	〃
牡丹鎌倉彫筆	〃	〃	楼閣人物密陀絵箔稜花盆	〃	〃
堆朱筆	〃	〃	人物色絵漆盆	〃	〃
山水楼閣蒔絵印籠	〃	〃	松下人物堆朱輪花盆	〃	〃
瓢箪雀蒔絵印籠	〃	〃	梅詩文堆黒輪花盆	〃	〃
蓬萊蒔絵印籠	〃	〃	蓮鷺堆黄輪花盆	〃	〃
柘榴蝶蒔絵印籠	〃	〃	栗鷄蒔絵硯箱	〃	〃
草虫尽紅花緑葉鳥瓜形堆朱香合	〃	〃	四季草花蒔絵硯箱	〃	〃
牡丹紅花緑葉香合	〃	〃	流水楼蒔絵硯箱	〃	〃
流水鴛鴦蒔絵香合	〃	〃	松竹梅橘蒔絵カルタ箱	〃	〃
岩松橋沢瀉紋蒔絵重香合	〃	〃	双龍蒔絵香炉	〃	〃
染付日本地図文皿	〃	〃	松竹椿橘鶴亀蒔絵阿古陀香炉	〃	〃
染付草花文四隅切皿	〃	〃	岩松橋沢瀉紋蒔絵重香合	〃	〃
染付楼閣山水文四隅切皿	〃	〃	流水鴛鴦蒔絵香合	〃	〃
染付花雲筏文皿	〃	〃	牡丹雄子堆朱中次	〃	〃
染付花籠文皿	〃	〃	松下唐子螺鈿中次	〃	〃
染付竹雪輪文皿	〃	〃	寒月梅大平鉢	〃	〃
染付楼閣山水文皿	〃	〃	笠形鉢	勘 助	〃
色絵花鳥文皿	〃	〃	大平鉢	五 平	〃
色絵四季草花文鉢	〃	〃	大平鉢 東下り	五 平	〃

(4) 近代美術展示室 (374㎡)

「鳥取県の近代美術 I」

会期：平成14年 6 月19日(水)～ 7 月21日(日)

〔出 品 目 録〕

林	森岡 柳蔵	館 蔵	小雨降る	笹鹿 彪	館 蔵
風景	久米 福衛	〃	花	木山 義喬	〃
雪の材木置場	尾崎悌之助	〃	バラ	中井 金三	〃
青い岩	松田 晃八	〃	ラオコーンのある静物	福留 章太	〃
夏泊港	亀田 正一	〃	ランプと古地図	前田 利三	〃
清水彦五郎の像	遠藤 董	〃	河口地帯	山本 朔士	〃
火鉢 (冬の読書)	安岡 信義	〃	風歌い	有田 巧	〃
花模様のドレス	香田 勝太	〃	一隅 (海の近く I)	山本 恵三	〃
婦人像	伊谷 賢蔵	〃	非存な風景	谷田 頼郎	〃

小企画コーナー「前田寛治 I」

展示期間：平成14年 6 月19日(水)～ 7 月21日(日)

〔出 品 目 録〕

裸婦	前田 寛治	館 蔵	裸婦二態	前田 寛治	館 蔵
横臥裸婦	〃	〃	横たはる裸婦	〃	〃
仰臥裸婦	〃	〃	裸婦	〃	〃
伏臥裸婦	〃	〃	裸婦	〃	〃
裸婦	〃	〃	ベッドの裸婦	〃	〃
(鏡の前の)裸婦	〃	〃	裸婦	〃	〃
裸婦二態	〃	〃	裸婦	〃	〃
裸婦 クロッキー	〃	〃	裸婦	〃	〃
裸婦	〃	〃			

小企画コーナー「前田寛治 II」

展示期間：平成14年7月25日(木)～9月1日(日)

〔出品目録〕

マイハウス	前田 寛治	個人蔵	ノートルダム	前田 寛治	館蔵
山陰の家並	"	"	街	"	"
風景	"	"	街角	"	"
山の見える風景	"	"	街角	"	"
畑	"	"	街角	"	"
セーヌ川	"	"	街角	"	"
風景	"	館蔵	林道	"	"
バリ風景	"	個人蔵	富士風景	"	"
工場風景	"	館蔵	風景	"	"
風景	"	"	風景	"	"
海	"	"	風景	"	"
風景(林の中)	"	"	波	"	"
風景	"	"	犬吠埼	"	"
浮かぶ島	"	"	海と空と波	"	"
風景	"	"	波	"	"
風景	"	"	波	"	"
風景	"	"			

小企画コーナー「前田寛治 III」

展示期間：平成14年9月5日(木)～10月6日(日)

〔出品目録〕

子供の像	前田 寛治	個人蔵	女の子立像	前田 寛治	館蔵
花と子供等	"	館蔵	乳母車と女の子	"	"
少女	"	個人蔵	村の人々	"	"
立てる子供	"	館蔵	少女	"	"
少女と子供	"	"	少女	"	"
少女坐像(赤衣)	"	"	少女	"	"
白い服の少女	"	"	少女像	"	"
子供(ふたりの子供)	"	個人蔵	少女	"	"
横向きの女の子	"	館蔵	T、N嬢	"	"
子供	"	"	少女	"	"
田舎の子	"	"	少女	"	"
子供を背負った女の子	"	"			

特別陳列「前田寛治と仲間たち」

会期：平成14年10月11日(金)～12月9日(日)

〔出品目録〕

卓上静物	鈴木千久馬	館蔵	彫刻家の肖像	前田 寛治	個人蔵
モンマルトン風景	"	"	テレサの像	小島善太郎	館蔵
花	鈴木 亜夫	"	マリーヌの記念	里見 勝蔵	"
フランス ノルマンディー エトルタ			石膏のある静物	"	"
	伊原宇三郎	"	オーヴェールの教会	佐伯 祐三	"
花	川口 軌外	"	婦人像	木下 孝則	"
椅子に座る女	中山 麿	"	裸婦	林 武	"
西洋婦人像	前田 寛治	"	M氏の肖像	木下 義謙	"
仰臥裸婦	"	"	仰臥裸婦	前田 寛治	"
棟梁の家族	"	"	まどろむ女(習作)	ギュスターヴ・クールベ	"
伏臥裸婦	"	"	横臥裸婦	前田 寛治	"

「鳥取県の近代美術 II」

会期：平成14年12月10日(火)～平成15年 3月30日(日)

〔出品目録〕

漁村田後	須田国太郎	館 蔵	杜を映す溜水	國領 経郎	館 蔵
山陰海濱	尾崎悌之助	"	八頭の山	松田 晃八	"
東浜風景	松田 晃八	"	梅雨時の東郷湖	鍋井 克之	"
羽尾の切り割り	"	"	国坂物語（地引き綱）	前田 利三	"
漁村田後	須田国太郎	館 蔵	国坂物語（竹馬合戦）	"	"
山陰海濱	尾崎悌之助	"	校庭の桜	中井 金三	"
東浜風景	松田 晃八	"	マイハウス	前田 寛治	個人蔵
羽尾の切り割り	"	"	山陰の家並	"	"
山陰段々畠	尾崎悌之助	"	子供	"	"
鳥取城跡	前田 利三	"	裏大山晩秋	伊谷 賢蔵	館 蔵
お堀雪景	尾崎悌之助	"	豪円山より大山を望む	"	"
雲と砂防垣	"	"	大山滝雪景	中井 金三	"
砂丘	松田 晃八	"	港（境港）	笹鹿 彪	"
砂丘	笹鹿 彪	"			

小企画コーナー「前田寛治 IV」

展示期間：平成14年12月10日(火)～平成15年 1月19日(日)

〔出品目録〕

フランス風景	前田 寛治	館 蔵	街の風景	前田 寛治	館 蔵
セイヌ河畔の春	"	"	工場風景	"	"
裸婦	"	"	（工場内部の下絵）発電機	"	"
女の顔	"	"	物を喰う男	"	"
少女	"	"	労働者四態	"	"
繻帯とした男	"	"	立てる労働者	"	"
労働者	"	個人蔵	カフェ内	"	"
物を喰う男	"	館 蔵	街角	"	"
メーデー	"	個人蔵	女性像	"	"
工場内部	"	"	少女	"	"

小企画コーナー「前田寛治 V」

展示期間：平成14年12月10日(火)～平成15年 1月19日(日)

〔出品目録〕

2人のこども	前田 寛治	個人蔵	西洋婦人像	前田 寛治	館 蔵
老婆と子供	"	"	立てる労働者	"	個人蔵
立てる子供	"	館 蔵	ものを喰う男	"	館 蔵
少女と子供	"	"	赤襟のセーター	"	個人蔵
少女坐像	"	"	ブルターニュの女	"	"
椅子にかける裸婦	"	個人蔵	ある彫刻家の肖像	"	"
婦人像	"	"	籠の中の静物	"	館 蔵
少女	"	館 蔵	自画像	"	"
黒衣婦人像	"	個人蔵	自画像	"	"

2 特 別 展

(1)「伊谷賢蔵 生誕百年記念展」

会 期 平成14年 4 月23日(火)～ 5 月19日(日)
 会 場 鳥取県立博物館 第1・第2 特別展示室
 主 催 鳥取県教育委員会・鳥取県立博物館
 後 援 株式会社山陰放送、新日本海新聞社、日本海テレビ、山陰中央新報、山陰中央テレビジョン放送株式会社、NHK鳥取放送局、エフエム山陰、朝日新聞鳥取支局、読売新聞鳥取支局、毎日新聞鳥取支局、産経新聞鳥取支局、日本経済新聞鳥取支局、中国新聞鳥取支局、時事通信社鳥取支局、共同通信社鳥取支局、テレビ朝日鳥取支局
 入館料 一般800(600) 円、高校生400(200) 円、小・中学生100(50) 円

※() 内は20人以上の団体料金

洋画家・伊谷賢蔵(1902～1970)は、鳥取市に生まれ、京都を中心に活躍し、美術団体「行動美術協会」の結成等を通じて戦後の関西洋画界を牽引してきた人物である。また、京都学芸大学(現京都教育大学)、京都精華大学短期大学等で教鞭を執り、後進の育成に尽力してきたことでも知られている。画家としての伊谷は、二科展と行動美術協会展への出品を中心に、中国・南米・南欧・九州などへの旅を転機としながら成長していった。その作風には文人画的な自由闊達さや鷹揚さを伺うことができ、洋画の新たな方向性を示すものとして高く評価されている。

平成14年度に伊谷賢蔵の生誕百年を迎えることを記念して開催した本展では、鳥取県立博物館の所蔵作品を中心に県内外の主要な作品や資料を加えて展示することにより、改めてその画業を顕彰した。

<関 連 行 事>

(1) 特別講演会

期 日 平成14年 4 月28日(日) 午後2時～午後4時 当館講堂
 講 師 大阪市立近代美術館(仮称)建設準備室 研究主幹 熊田 司 氏
 参加人数 65人

(2) 学芸員講座 「伊谷賢蔵と山の絵画」

期 日 平成14年 5 月12日(日) 午後2時から4時まで
 講 師 当館学芸員 竹氏 倫子
 参加人数 45人

(3) ギャラリートーク

会期中の毎週土曜日 午後2時より展示室で開催
 参加人数 107人

<出 品 目 録>

〈油絵〉					
風景	伊谷賢蔵	館 蔵	女と孔雀	伊谷賢蔵	館 蔵
静物	"	鳥取市立彦喬小学校	黒衣婦人像	"	"
子供の顔	"	個人蔵	遣雷 習作	"	"
下鴨の森(仮題)	"	館 蔵	北京中海公園ヨリ白塔ヲ望ム	"	個人蔵
画室にて	"	"	焦土に蘇る	"	福井県立美術館
公園の一隅	"	"	楽土建設	"	京都国立近代美術館
大原女	"	"	暁闇	"	館 蔵
			皇風焦土に遍し	"	"

山と村	伊谷賢蔵	館 蔵	花（ハクニチソウ）	伊谷賢蔵	個人蔵
天橋小島の市	〃	京都市美術館	バツタ	〃	〃
大同石仏	〃	個人蔵	由布山	〃	〃
山河に挑む	〃	館 蔵	法華院より久住山	〃	〃
労力の交替時間	〃	〃	城原高原より由布を望む	〃	〃
激怒闘魂 南海を脱む	〃	〃	鶴見岳・由布岳	〃	〃
請負場の子供 習作	〃	個人蔵	城島高原	〃	館 蔵
炊事当番	〃	館 蔵	阿蘇連峰	〃	〃
少女と海	〃	鳥取県立博物館	高千穂	〃	個人蔵
燈下	〃	鳥取市文化センター	高千穂	〃	〃
室内裸婦	〃	館 蔵	長崎	〃	〃
初夏	〃	〃	長崎	〃	〃
春色哀愁の図	〃	〃	桜島	〃	〃
緑陰歡喜之図	〃	京都市美術館	桜島	〃	〃
三人姉妹	〃	個人蔵	桜島	〃	館 蔵
岬（山陰）	〃	京都教育大学	桜島	〃	個人蔵
罌粟と裸婦	〃	館 蔵	裸婦二人像	〃	館 蔵
画室の一隅	〃	京都市美術館	裸婦坐像	〃	〃
由布岳	〃	京都国立近代美術館	裸婦立像	〃	〃
由布嶽残照	〃	京都市美術館	裸婦立像	〃	〃
卓上静物	〃	個人蔵	マチュピチュ（ペルー）	〃	〃
けしのある静物	〃	〃	クスコ風景（ペルー）	〃	〃
柘榴などの静物	〃	〃	題名不詳（ペルー）	〃	個人蔵
立石山早春	〃	館 蔵	インディオ ペルー	〃	〃
万年山	〃	大阪市立近代美術館準備室	サンタルチア公園（サンチアゴ）	〃	館 蔵
裸婦とアネモネ	〃	京都国立近代美術館	サンタルチア公園（サンチアゴ）	〃	〃
裸婦と金仙花	〃	〃	リスボン（ポルトガル）	〃	〃
由布岳と鶴見岳	〃	個人蔵	リスボン（ポルトガル）	〃	個人蔵
南瓜などの静物	〃	京都国立近代美術館	トレド（スペイン）	〃	〃
裏磐梯春雪	〃	鳥取県立鳥取西高等学校	トレド（スペイン）	〃	〃
室内裸婦	〃	館 蔵	マラガ（スペイン）	〃	館 蔵
桜島	〃	個人蔵	グラナダ（スペイン）	〃	個人蔵
インカの町 クスコ ペルー	〃	〃	コロッセオ（ローマ、イタリア）	〃	〃
インディオ母子	〃	大阪市立近代美術館準備室	コロッセオ（ローマ、イタリア）	〃	〃
トレドの秋	〃	米子市美術館	フォロロマーノ（イタリア）	〃	〃
トレド朝焼	〃	株式会社鐘淵化学工業	ナポリからカプリへ（イタリア）	〃	〃
ピサックの日曜日	〃	京都市美術館	フィレンツェ（イタリア）	〃	〃
ブレインカ城塞都市	〃	京都府立総合資料館所蔵	フィレンツェ（イタリア）	〃	〃
〈南米ペルー マチュピチュ〉	〃	京都文化博物館管理	ヴェネツィア（イタリア）	〃	館 蔵
アンデス高原の女達	〃	大阪市立近代美術館準備室	アッシジ（イタリア）	〃	個人蔵
コロッセオ内壁 ローマ円形闘技場	〃	鳥取大学	大山	〃	〃
朝市のインディオ達	〃	京都国立近代美術館	大山北壁	〃	館 蔵
鎧の袖 山陰海岸国立公園	〃	中野美術館	大山	〃	個人蔵
伯耆大山晩秋	〃	米子市美術館	大山	〃	〃
伯耆大山夕照	〃	個人蔵	大山	〃	〃
クスコの朝市	〃	館 蔵	大山	〃	〃
梅	〃	〃	香住海岸	〃	館 蔵
万年山早春	〃	〃	山陰海岸	〃	〃
雲と噴煙の桜島	〃	京都市美術館	信州の山	〃	〃
比叡山暮色	〃	京都精華大学	信州	〃	個人蔵
インディオ座像	〃	館 蔵	信州	〃	〃
卓上秋果	〃	個人蔵	波切・大王崎燈台	〃	館 蔵
裏大山晩秋	〃	館 蔵	裏磐梯	〃	個人蔵
新穂高より	〃	〃	裏磐梯	〃	〃
花菖蒲	〃	個人蔵	笠ヶ岳 新穂高	〃	〃
桜島（未完）－絶筆－	〃	〃	笠ヶ岳 （中尾）	〃	〃
			桜島	〃	〃
			桜島	〃	〃
<素描>					
炭鉱労働者	〃	個人蔵			

(2)「華やぐパリの芸術家たち 展 ～印象派、エコール・ド・パリから現代までの足跡をたどる～」

- 会 期 平成14年7月20日(土)～8月25日(日)
- 会 場 鳥取県立博物館 第1・2特別展示室
- 主 催 鳥取県教育委員会、鳥取県立博物館
- 後 援 フランス大使館、NHK鳥取放送局、新日本海新聞社、山陰中央新報社、朝日新聞鳥取支局、毎日新聞鳥取支局、読売新聞鳥取支局、産経新聞鳥取支局、中国新聞鳥取支局、日本経済新聞社鳥取支局、日本海テレビ、山陰放送、山陰中央テレビ、共同通信鳥取支局、時事通信社鳥取支局、テレビ朝日鳥取支局、エフエム山陰
- 協 力 JAL日本航空、日本通運(株)
- 入館料 一般800(600)円、高校生400(200)円、小・中学生100(50)円
- ※()内は20人以上の団体料金

9世紀から20世紀にかけて、フランスは数多くの優れた画家たちを輩出し、さまざまな芸術運動が展開した。印象派、後期印象派、フォーヴィスム、キュヴィズム、エコール・ド・パリ、シュールレアリスム、そして第二次世界大戦後もアンフォルメルなど、いわゆる抽象表現主義や前衛美術を登場させ、常に時代をリードしてきた。これらの絵画運動のすべてはパリを中心に興り展開していったもので、パリは世界の芸術家たちの憧れの地となった。このように20世紀までの絵画の進化の源流は、今日の現代芸術が展開されているともいえる。

本展では、印象派のモネ、ルノワール、エコール・ド・パリのモディリアニ、レオナール・フジタ、シュールレアリスムのミロなど、巨匠たちの作品を展示し、その美の軌跡を紹介した。

<関 連 行 事>

(1) 特別講演会

- 期 日 平成14年7月28日(日) 午後2時から
- 講 師 愛媛県美術館長 原田 平作 氏
- 演 題 「近代のヨーロッパ美術－エコール・ド・パリを中心に」
- 場 所 県立博物館2階講堂
- 参加人数 58人

(2) ワークショップ

- 期 日 平成14年8月3日(土)、4日(日) 午前10時から午後3時まで
- 講 師 小笠原 よしえ 氏
- 内 容 パリで話題のフランス額装入門
- 参加人数 50人

(3) サロンコンサート

- 期 日 平成14年8月11日(日) 午前10時と午後2時から30分程度
- 演 奏 ダフニス弦楽四重奏団
- 場 所 県立博物館第2特別展示室
- 参加人数 190人

(4) フランス映画上映会

- 期 日 平成14年8月17日(土) 午前10時と午後2時から2回上映
- 内 容 画家・モディリアニをモデルとした映画「モンパルナスの灯」を上映。
- 参加人数 250人

(5) ギャラリートーク 会期中の毎週土曜日(8/3、8/17を除く) 午後2時から、展示会場

<出品目録>

少女	ジャン・フランソワ・ミレー	百合とミモザのブーケ	モーイズ・キスリング
クーブロン	カミーユ・コロー	ミモザのブーケ	〃
公園の中の三人の女性	アドルフ・モンティセリ	チューリップ	〃
ヴェネツィアの結婚式	〃	ミモザ	〃
トゥルーヴィルの海水浴場	ウジェーヌ・ブーゲン	キスリングのアトリエ	キスリング/モディリアニ
ベルビューの庭に立つ女	エドゥアール・マネ	静物と肖像	モーイズ・キスリング
霧の中の太陽	クロード・モネ	猫と少女	レオナルド・フジタ
セーヌ川、ポート＝ヴィエの風景	〃	家族の肖像	〃
胸飾りの少女	ビエール＝オーギュスト・ルノアール	モンバルナスの風景	〃
リング	〃	ジルベール・ペトリデスの肖像	〃
テラスの少女	エドゥアール＝ジャン・ヴイヤール	聖母子	〃
ロッテルダム港の曳き船	ポール・シニャック	モディリアニとジャンヌの肖像	〃
休憩するモデル	ビエール・ボナール	祈る少女	〃
王とキリスト	ジョルジュ・ルオー	子猫と女	ヴァン・ドンゲン/フジタ
道化師	〃	青い服の少女	レオナルド・フジタ
船のある風景 トリエールにて	アルベール・マルケ	踊り	〃
レモン	ジョルジュ・ブラック	若い娘	マリー・ローランサン
顔	アンリ・マティス	馬と娘達	〃
黒い貨物船	ラウル・デュフィ	扇子を持った自画像	〃
トランベット奏者	〃	2人の女	ジュール・パスキン
花瓶の花	モーリス・ド・ヴラマンク	裸婦	〃
バリ近郊の橋	〃	ジェルメーヌ再び	〃
風景	〃	ポーレット・ジュルダンの肖像	カイク・スーティン
日曜日の遊び	カミーユ・ボンボワ	母子像	〃
レオ・スタインの肖像	フェルナン・レジェ	セーヌ風景	コンスタンチン＝コステア・テレスコヴィッチ
ヴァランジュヴィルのアンゴ邸	モーリス・ユトリロ	アンドレ・サルモンの肖像	ジャン・コクトー
モンマルトル ルビック通り	〃	キスリングの肖像と小犬	〃
赤いスカートの娘	キース・ヴァン・ドンゲン	人物	〃
黒い服の女	アメデオ・モディリアニ	コンポジション	ホアン・ミロ
褐色の髪の女	〃	紳士と鳥と星	〃
ビッケル婦人	〃	タバコの男	ジャン・フォートリエ
女の肖像	〃	高い草	〃
ベアトリス・ヘイスティング	〃	教会の前での踊り	アンドレ・マッソン
頭部	〃	モンバルナスの仲間たちへのオマージュ	マレグナ (マリー・ボロビエフ)
カリアティド	〃	無題	ハンス・アルトゥング
スボロフスキー婦人の肖像	〃	過ぎゆく影	ジャン・バゼーヌ
ハンカ・スボロフスカの肖像	〃	窓際の少女	モーリス・ルーツルイユ
帽子を被った女の肖像	〃	ブドウ栽培者	バルタザール・バルテュス
モディリアニの肖像	モーイズ・キスリング	ノートルダム	エリゼ・マクレ
横たわる裸婦	〃	視線	ミサオ・コウノ
静物	〃		

(3) 国立歴史民俗博物館巡回特別展「異界万華鏡ーあの世・妖怪・占いー」

会 期 平成14年9月6日(金)～10月6日(日)

休館日 9月9(月)・17(火)・24(火)・30(月)

入館者 10,891人

会 場 鳥取県立博物館 第1特別展示室

主 催 国立歴史民俗博物館・読売新聞社・鳥取県立博物館

入館料 小・中学生100(50)円 高校生200(100)円 一般400(200)円

※()は団体20人以上

「異界」とは、人間の生活領域の向こう側、日常空間の外側の世界である。古来、日本人はみえ

ない「異界」をさまざまに想像することで、日々の不安を和らげ、生きていくための拠り所を得ようとしてきた。異界へのたくましい想像力は、長い歴史のなかで絶えることがなく、現在も生み出され続けている民俗文化である。

この展覧会では、日本人が想像してきた異界を〈あの世〉・〈妖怪〉・〈占い〉という面から展示するとともに、人々と異界との交渉の跡をたどりながら、それを必要としてきた心性と、現代社会における異界の持つ意味について考えるものである。

本企画は、国立歴史民俗博物館で平成13年7－9月に開催された同名の展覧会の巡回展で、平成14～15年度に全国6カ所を巡回する。

<関連行事>

(1) 特別講演会「現代異界考」

期 日 平成14年9月14日（土）午後2時～午後4時 当館講堂

講 師 国立歴史民俗博物館 助教授 常光 徹 氏

参加人数 144人

(2) ギャラリートーク

期 日 平成14年9月7日（土）午後2時～午後3時 展示会場

講 師 当館学芸員

参加人数 41人

(3) ^{たそがれ}誰そ彼ギャラリートーク

期 日 9月7日、14日、21日、28日（土）

講 師 当館学芸員

参加人数 計500人

(4) 学芸員講座「鳥取県の怪談」

期 日 平成14年9月28日（土）午後2時～午後4時 当館講堂

講 師 当館学芸員 福代 宏

参加人数 97人

<出品目録>

第1部 あの世とこの世

1 死者の行方

山越阿弥陀図（複製） 1 隻

臨終行儀（複元模型） 1 式

二十五菩薩来迎図 1 幅

地獄草紙 1 巻

地獄曼荼羅 1 巻

地獄之図 1 冊

阿弥陀経図会 1 冊

絵入往生要集 3 冊

地藏菩薩六道衆生救済図 2 幅

五趣生死輪 1 幅

熊野那智地獄極楽観心十界図（複製） 1 幅

岩松宮本北野天神縁起絵巻「日蔵の六道巡り」 1 巻

切子灯籠 1 点

切子灯籠 1 点

博多提灯 1 点

迎え提灯 1 点

精霊船（シャーラーブネ） 1 点

小型精霊船 1 点

アングマ行事のウシュマイ・ウンミー（複製） 2 体

2 死者の描き方

初代中村玉七死絵 1 点

四台目中村歌右衛門死絵 1 点

初代坂東しうか死絵 1 点

五代目瀬川菊之丞死絵 1 点

三代目助高屋高助死絵 1 点

初代坂東しうか死絵 1 点

六代目岩井半四郎死絵 1 点

三代目坂東三津五郎死絵 1 点

三代目尾上菊五郎死絵 1 点

三代目坂東三津五郎死絵 1 点

初代坂東しうか死絵 1 点

四代目尾上菊五郎死絵 1 点

五代目市川海老蔵死絵 1 点

三代目尾上菊五郎死絵 1 点

極楽より甞雀仏を出むかひの図 1 点

初代坂東しうか死絵 1 点

熊谷次郎直さねほつしん、運生坊 1 点

三代目坂東三津五郎、五代目瀬川菊之丞死絵 1 点

八代目市川團十郎死絵	1 点	一流うつしゑ	1 点
八代目市川團十郎死絵	1 点	変化名の見立角力	1 点
八代目市川團十郎死絵	1 点	怪談百物語(引札)	1 点
八代目市川團十郎死絵	1 点	百奇野業人情反復浮世魁談変化競	1 点
八代目市川團十郎死絵	1 点	妖怪百物語(映画ポスター)	1 点
八代目市川團十郎死絵	1 点	お好み演芸 笑ふお化け大会	1 点
十代目片岡仁左衛門死絵	1 点	百鬼夜行(寄席ビラ)	1 点
三代目沢村田之助死絵	1 点	2 異界をのぞく	
九代目市川團十郎死絵	1 点(3枚)	本所七不思議之内 狸囃	1 点
幽霊図(複製)	1 幅	3 河童の世界	
幽霊図	1 幅	河童の想像模型	1 点
幽霊図	1 幅	水虎相伝妙薬まじない	1 点(2枚)
応挙之幽霊	1 点	和漢百物語 白藤源太	1 点
3 怪談とその楽しみ		暁斎漫画 狸々と河童の首引	1 点
南爾前來妙法経	1 点	北面天満神社河童像(複製)	1 点
四谷怪談 戸板返し	1 点	佐嘉神社河童像(複製)	1 点
四谷怪談 蛇山庵室	1 点		
四谷怪談 夢の場	1 点(2枚)	第3部 ウラを読む	
怪談座談会葉書	1 点	1 陰陽道と安倍晴明	
第2部 妖怪変化の時空		外道を調伏する安倍晴明 模型	1 式
1 描かれた妖怪		亀卜雄記 藤原春國画	1 冊
兵六物語	1 巻	式盤 復元模型	1 点
百鬼夜行絵巻	1 巻	天曹地府祭図	1 点
化物絵巻	1 巻	星図歩天歌	1 点
武太夫物語(稲生物怪録絵巻)	1 巻	反閑作法	1 点
大江山酒吞童子絵巻	3 巻(上中下)	渾天儀	1 点
土蜘蛛	1 巻	鎮宅靈符	1 点
百鬼徒然袋	1 冊	鎮宅靈符祭文	1 点
狂歌百物語	1 冊	九将神祭	1 点
夜窓鬼談	2 冊	三嶋曆	1 冊
天怪報仇夜半嵐	3 冊	伊勢曆	1 冊
御存の化物	5 冊	柱曆	1 冊
下野之國奈須の原金毛白亜九尾の悪狐たいじの図	1 点(3枚)	官曆	1 冊
三國妖婦伝	1 点(3枚)	官曆(太陽曆)	1 冊
古今こん悪狐退治	1 点(3枚)	廿八宿吉凶表(お化け曆)	1 冊
昔ばなし舌切雀	1 点(3枚)	農民日記(お化け曆)	1 冊
和漢百物語 頓欲ノ婆々	1 点	日鑑(お化け曆)	1 冊
新形三十六怪撰 おもゐつつら	1 点	日鑑	1 冊
源頼光公館土蜘蛛作妖怪図	1 点(3枚)	九星日要鏡	1 冊
化物の夢	1 点	農民日記	1 冊
踊形容外題尽 重扇寿松若	1 点	土御門万年曆	1 冊
狂斎百狂 どふけ百万編	1 点(3枚)	簗簗内伝	1 冊
昔語岡崎猫石妖怪	1 点(3枚)	三世相大雑書	1 冊
於吹島之館直之古狸退治図	1 点(3枚)	吉備大臣唐伝授口伝	1 点
怪鼠伝之内 冠者義高 猫間新太郎	1 点(2枚)	家相方位図説	1 冊
芋喰僧正魚説法	1 点(2枚)	筑波山名跡誌	1 冊
こんこんちき野中の戯	1 点	2 現代社会と占い	
本所七不思議之内 足洗邸	1 点	夕涼市中の賑わい	1 点
頼光之臣四天王之豪傑土蜘蛛退治之図	1 点(3枚)	忍月居士「辻占賣」(文学世界第5巻)	1 点
白沢の図	1 幅	活動写真辻占	1 点
越後の国に光り物出て予言する	1 点	みくじ献灯機	1 点
雷光の図説 豊年魚	1 点	六角振り出し箱	1 点
東京日々新聞445号 三目の妖僧	1 点	みくじ	1 点
新板おばけづくし	1 点	人相千百年眼	1 点
百種怪談妖物双六	1 点	人相独稽古	1 点
新版妖怪飛巡双六	1 点	平安京・風水概念 模型	1 点
童戯五拾三次之内 四日市	1 点	羅盤	1 点
しん板猫のふきや	1 点	地理山法風水秘録	1 冊

第4部 鳥取県の異界

1 鳥取県に伝わる占い行事

生田の管粥(写真パネル)

逢坂八幡神社の管粥神事(〃)

百手の神事(〃)

陣所(〃)

菰蒲綱引き(〃)

菰蒲綱引き(〃)

2 水木しげる本棚

正福寺の絵馬(写真パネル)

水木しげる著書

・本表は、平成14年9月6日(土)から10月6日(日)まで開催する、「異界万華鏡—あの世・妖怪・占い—」の出品目録です。

・第1部～第3部までの資料が国立歴史民俗博物館所蔵で、第4部のみ鳥取県立博物館所蔵です。

・会期中、一部展示替えを行います。

前期：9月6日(土)～23日(月・祝) 後期：9月25日(火)～10月6日(日)

(4)「鳥取県の名宝」

会 期 平成14年11月2日(土)～12月1日(日) 休館日11月11日(月)、25日(月)

入館者 7,164人

会 場 鳥取県立博物館 第1・2・3特別展示室

主 催 文化庁・鳥取県教育委員会・鳥取県立博物館

後 援 N H K鳥取放送局、新日本海新聞社、山陰中央新報社、朝日新聞鳥取支局、毎日新聞鳥取支局、読売新聞鳥取支局、産経新聞鳥取支局、中国新聞鳥取支局、日本経済新聞社鳥取支局、日本海テレビ放送、山陰放送、山陰中央テレビ放送、共同通信社鳥取支局、時事通信社鳥取支局、テレビ朝日鳥取支局、エフエム山陰

入館料 小・中学生200(100)円 高校生500(300)円 一般1,000(800)円

※()は団体20人以上

開館三十周年記念として、考古資料、絵画、彫刻、工芸品など、さまざまな分野の、国宝・重要文化財・県指定保護文化財を一堂に展示し、鳥取県の文化財を総合的に紹介した。また、県外に所在し、普段県民が見ることの困難な文化財を可能な限り里帰りさせた。

<関連行事>

(1) 特別講演会「国宝普賢菩薩の魅力」

期 日 平成14年11月3日(日)午後2時～4時 当館講堂

講 師 東北大学大学院 教授 有賀 祥隆氏

参加人数 90人

(2) 特別講演会「鳥取県の仏像」

期 日 平成14年11月10日(日)午後2時～4時 当館講堂

講 師 京都大学大学院 助教授 根立 研介氏

参加人数 84人

(3) 学芸員講座「伊福部氏系図について」

期 日 平成14年11月24日(日) 午後2時～4時 当館講堂

講 師 当館 主任 石田 敏紀

参加人数 84人

(4) ギャラリートーク「鳥取県の仏像」

期 日 平成14年11月2日(土)、9日(土)、23日(土)、30日(土) 午後2時～

講 師 当館学芸員

参加人数 のべ139人

<出品目録>

《考古資料》

◎鳥取県栗谷遺跡出土品

(木製杓子(含未製品)・深鉢形土器・石器・石製品類・編物製品残欠)

39点 福部村教育委員会

長瀬高浜遺跡出土弥生土器 5点 羽合町教育委員会

○流水文銅鐸(鳥取市越路出土) 1点 当館

○袈裟褌文銅鐸(倉吉市小田出土) 2点 倉吉博物館・個人

青谷上寺地遺跡出土木製品

(木製蓋付壺1、木製高坏1、曲物底板1、

木製高坏坏部・脚部各1、木製桶1) 6点 鳥取県教育委員会

鳥取市西桂見墳丘墓出土土器 5点 当館

◎三角縁神獣鏡

(鳥取県西伯郡会見町菅段寺1号墳出土) 1面 会見町 大安寺

◎伯耆国分寺古墳出土品のうち

菱鳳鏡・三角縁神獣鏡・二神二獣鏡 3面 倉吉市 国分寺

馬ノ山4号墳出土品のうち

三角縁神獣鏡・内行花文鏡・車輪石 3点 東京国立博物館

上神大將塚古墳出土品のうち

三角縁神獣鏡・鍬形石・琴柱形石製品 3点 東京国立博物館

銅鏡(気高町谷奥1号墳出土) 1点 東京国立博物館

古郡家1号墳出土短甲 1点 山陰考古学研究所

○小札紙留眉庇付冑(湯山6号墳出土) 1点 福部村教育委員会

◎伯耆長瀬高浜遺跡出土土輪のう

甲冑1・家2・盾1・蓋2・鞆1・朝顔2 9点 羽合町教育委員会

◎子持勾玉 1点 当館

○子持勾玉 2点 個人・当館

◎鳥取県野口1号墳出土須恵器

(装飾子持壺付装飾器台1、七連坏付装飾器台2) 3点 倉吉博物館

◎上野遺跡出土 子持壺形須恵器、脚付子持壺形須恵器

5点 文化庁

○埴輪人物 1点 倉吉博物館

埴輪鹿 1点 鳥取大学

大御堂廃寺出土 佐波理匙 1点 倉吉博物館

上淀廃寺出土壁画のうち菩薩頭部・神将、 2点 淀江町教育委員会

同・彩色復元複製 2点 当館

斎尾廃寺出土塑像片 29点 東伯町教育委員会

《仏具・梵鐘》

◎銅造 観世音菩薩立像 1軀 大山町 大山寺

◎銅造 観世音菩薩立像 1軀 大山町 大山寺

◎銅造 観世音菩薩立像 1軀 大山町 大山寺

瓦経(大日寺出土) 2点 当館

鳥取県智積寺経塚出土 泥塔経 37点 奈良国立博物館

◎伯耆一宮経塚出土品のうち、

銅経筒1、金銅観音菩薩立像1、

銅造千手観音菩薩立像1、

銅板線刻弥勒立像1

銅鏡2、瑠璃玉一括、銅銭2 8件 東郷町 倭文神社

○新興寺金峯山経塚出土遺物のうち

外容器1・銅経筒2・銅鏡8(うち残片5)

白磁合子1・白磁皿1・銅鈴1・

金銅製金具3

◎鉄製厨子(附祈願文鏤刻ノ鉄板三枚)

○鉄造聖観音立像 鉄造十一面観音立像

附鉄製光背

○擬宝珠

○銅罽口

○罽口

◎西光寺梵鐘

◎鰐淵寺梵鐘

◎光明寺銅鐘

17点 八東町 新興寺

4点 大山町 大山寺

3点 西伯町賀祥区

一对 関金町 地藏院

1口 国府町 清泉寺

1口 島根県 清水寺

1口 福岡県 西光寺

1口 島根県 鰐淵寺

1口 島根県 光明寺

《仏画》

◎絹本着色 普賢菩薩像

1幀 智頭町 豊乗寺

◎絹本着色 楊柳観音像

1幅 智頭町 豊乗寺

●絹本着色 五大明王図

5幅 用瀬町 大安興寺

●絹本着色 十六善神画像

1幅 東伯町 転法輪寺

涅槃図

1幅 鳥取市 興禅寺

両界曼荼羅(胎藏界・金剛界)

対幅 鳥取市 大雲院

《仏像》

◎木造 千手観音立像

1軀 大栄町 観音寺

○木造 吉祥天立像

1軀 大栄町 観音寺

◎木造 毘沙門天立像

1軀 日野町 長楽寺

◎木造 不動明王立像

1軀 日野町 長楽寺

○木造 大日如来坐像(胎藏界・金剛界)

2軀 若桜町 永福寺

◎木造 阿弥陀如来坐像

1軀 倉吉市 大日寺

○木造 阿弥陀如来立像

1軀 東伯町 転法輪寺

◎木造 持国天立像

1軀 郡家町 青龍寺

◎木造 多聞天立像

1軀 郡家町 青龍寺

○木造 大日如来坐像

1軀 東郷町高辻地区

○木造 稻荷像

1軀 倉吉市 神庭神社

《三徳山三仏寺》

◎木造蔵王権現立像(その二)

1軀 三朝町 三仏寺

◎木造 十一面観音菩薩立像(観音堂安置)

1軀 三朝町 三仏寺

●三仏寺奥院(投入堂)の古材

1軀 三朝町 三仏寺

○木造 蔵王権現立像

1軀 岩美町 観照院

●木造 女神坐像

1軀 三朝町 三仏寺

木造 僧形坐像(律師行明)

1軀 三朝町 三仏寺

○木造 狛犬

一对 三朝町湯谷地区

○木造 狛犬

一对 三朝町 三仏寺

《文書・典籍》

伊福部氏系図

1巻 個人

◎伊福吉部徳足比売骨蔵器

1口 東京国立博物館

◎紙本墨書 後醍醐天皇宸翰宝剑代輪旨

1巻 島根県 出雲大社

◎紙本墨書 名和長年執達状(鰐淵寺文書)

1点 島根県 鰐淵寺

紙本墨書 名和長年安堵状(新興寺文書)

1点 八東町 新興寺

◎法華経(色紙)のうち、巻第三・巻第七

2巻 奈良国立博物館

◎紙本金字 法華経 巻第二・巻第四

2巻 鳥取市 大雲院

◎因幡堂薬師縁起絵巻

1巻 東京国立博物館

《鳥取藩主池田家》

池田恒利画像	1幅	当館
池田信輝画像	1幅	当館
池田輝政画像	1幅	当館
池田忠継画像	1幅	当館
池田忠雄画像	1幅	当館
池田光仲画像	1幅	当館
池田光仲奉納甲冑	1領	鳥取市 栲谿神社
池田綱清画像	1幅	当館
池田吉泰画像	1幅	当館
池田宗泰画像	1幅	当館
池田重寛画像	1幅	当館
池田治道画像	1幅	当館
池田斉邦画像	1幅	当館
池田斉稷画像	1幅	当館
池田斉訓画像	1幅	当館
池田慶行画像	1幅	当館
池田慶米画像	1幅	当館
(参考)池田慶徳肖像写真パネル	1枚	当館

《近世絵画》

◎紙本墨画 飲中八仙図〈海北友松筆〉	1隻	京都国立博物館
○絹本着色 東方朔図〈土方稲嶺筆〉	1幅	当館
○紙本墨画 雲竜図〈土方稲嶺筆〉	対幅	当館
○絹本着色 猛虎図〈片山楊谷筆〉	3幅	個人
○絹本着色 群鯉図〈黒田稲皐筆〉	1幅	当館
○紙本墨画 群鯉游泳図〈黒田稲皐筆〉	1双	当館
○絹本着色 花鳥図〈島田元旦筆〉	対幅	個人
○絹本着色 富士見西行図〈沖探容筆〉	3幅	個人
絹本着色 官女図〈沖一峨筆〉	1幅	当館
因幡八景画帖〈伝 沖探容筆〉	1帖	当館
絹本着色 琴棋書画図〈根本幽峨筆〉	3幅	当館
○紙本淡彩 老樹図〈建部揆斎筆〉	1幅	個人
紙本淡彩 山水図〈正嶋適処筆〉	1幅	鳥取県立博物館
○三十六歌仙額	36面	鳥取市 栲谿神社

《工芸》

○伝 亀井茲矩将來品	3点	鹿野町 譲伝寺
◎短刀		
（銘 備州長船住兼光 附 金熨斗付合口拵）	1口	米子市 大神山神社
○刀（無銘古伯耆物 附銀造糸巻太刀拵）	1口	米子市 大神山神社
●太刀（銘 安綱）	1口	米子市 大神山神社
○太刀（銘〈表〉信濃大掾藤原忠国）・玉纏太刀式の太刀拵	1口	鳥取市 栲谿神社
○太刀（銘〈表〉信濃大掾藤原忠国）・第一太刀式の太刀拵	1口	鳥取市 栲谿神社
○太刀（銘〈表〉信濃大掾藤原忠国）・鋤剣（飾太刀）拵	1口	鳥取市 栲谿神社
○太刀（銘〈表〉伯耆国倉吉住人播磨大掾藤原正綱）	1口	鳥取市 栲谿神社
○宋青磁香炉	1点	関金町 地藏院
○三彩桜花刻花文盤	1点	倉吉市 大岳院
◎寒焼黒茶碗（東陽坊）長次郎作	1点	個人
○因久山 和蘭陀写水指	1点	個人
因久山 陣笠形鉢	1点	当館
因莚山 藍絵四重箱	1合	当館
因州湖東焼 赤絵鉢	1点	当館
因吉山 深鉢	1点	当館
浦富焼 染付大砲	1点	個人
		伯尾山 家形大香 1点 当館
《民俗資料》		
○木造 麒麟獅子頭	1点	国府町 岡益地区
○木造 麒麟獅子頭	1点	鳥取市中砂見地区
○馬場八幡人形芝居道具		
（神功皇后・応神天皇・武内宿禰）	3体	鳥取市 倉田八幡宮
●新田人形芝居人形頭		
（『絵本太閤記』武智光秀と操）	2体	智頭町 新田地区
○長谷寺の絵馬群		
白馬絵馬（一對）、歌舞伎図	3面	倉吉市 長谷寺
●朝比奈三郎、曾我五郎の草摺を引く図（絵馬）	1面	米子市 貴布祢神社
●百歳祝着	1領	鳥取民芸美術館
◎倉吉の鋳物師（斎江家）用具及び製品		
（茶釜1・鉄瓶1・火鉢1・文様型3）	6点	個人

（◎は国宝、◎は重要文化財、○は県指定保護文化財、●は市町村指定文化財）

3 催 物 展

(1) 「すばる望遠鏡 ―宇宙を探る新しい眼―」

- 会 期 平成14年 4 月20日（土）～平成14年 5 月19日（日）
会 場 第3 特別展示室
主 催 鳥取県立博物館、国立科学博物館、国立天文台、全国科学博物館協議会
後 援 三菱電機株式会社、大成建設株式会社
内 容 我が国がハワイ島マウナケア山頂に建設したすばる望遠鏡の建設経過や機能を紹介するとともに、望遠鏡を作るために用いられた最先端の技術、これまでに得られた天体画像、今後期待される研究成果について紹介しました。

<展 示 内 容>

- (1) すばる望遠鏡とは 山頂立体模型、すばる望遠鏡模型など
- (2) すばるを支える最先端の技術 能動光学実験装置、補償光学デモ装置
- (3) すばるが探る宇宙の姿 すばるの利点、画像検索装置
- (4) 望遠鏡の発展 望遠鏡とは、経緯台と赤道儀、望遠鏡の歴史
- (5) 映像ソフト 岩波映画、ファーストライト観測風景
- (6) すばるが捕らえた天体写真

<関 連 行 事>

- (1) 特別講演会 演題「世界一の望遠鏡すばる ―すばるが解き明かす宇宙の謎―」

日 時：4月21日（日）午後2時～4時 当館講堂

講 師：国立天文台岡山天文物理観測所長 吉田 道利 氏

参加人員：72人

- (2) 春の星を見る会

日 時：5月12日（日）午後7時～9時

講 師：鳥取天文協会員 多賀 利寛 氏

参加人員：57人

(2) 「数学と遊ぼう ―かたちと数のワンダーランド―」

- 会 期 平成14年12月12日（木）～平成15年 1 月19日（日）
会 場 第2 特別展示室
主 催 鳥取県立博物館、国立科学博物館、東海大学教育開発研究所、全国科学博物館協議会
内 容 「形と数」をテーマとし、体験型装置をとおして、数学の原理をわかりやすく解説した。また、「からくり人形」や「からくりおもちゃ」も展示し、幅広く数学について紹介した。

<展 示 内 容>

- (1) 美しいかたち・不思議なかたち プラトンの正多面体、錐体鏡など
- (2) 自然の中のかたちと数 ハチの巣のかたち、昆虫の複眼モデルなど
- (3) さわってためせる定理と証明 ピタゴラスの定理、円の面積など
- (4) 音と音楽 音の高低、逆さオルゴール、音楽の木
- (5) パズルの世界 図形の詰め込み、ダブル充填図形など

(6) からくり人形とからくりおもちゃの世界

<関連行事>

「九代目玉屋庄兵衛 からくり人形実演会」

日 時：12月22日（日）午前10時、11時、午後1時、2時、3時 計5回

参加人員：450人

(3) 「高知県立美術館ベストセクション シャガール版画展 ～愛の賛歌～」

会 期 平成15年3月15日（土）～4月13日（日）

会 場 鳥取県立博物館 第1・2特別展示室

主 催 鳥取県教育委員会、鳥取県立博物館

協 力 高知県立美術館

1887年、マルク・シャガールは、白ロシアのヴィテブスクに敬虔なユダヤ教徒の長男として生まれた。97歳で死去するまで、故郷の風物、サーカスの人々、空を浮遊する恋人達や花束、パリの風景、天使等をモチーフに神秘的で夢想的な世界を創り上げ、20世紀の巨匠の一人とよばれている。シャガールの画業の中でもとりわけ、1922年から23年のベルリン滞在中に始められた版画は、特筆すべき分野である。シャガール芸術の真髓が込められた個々の作品やシリーズが、様々な技法を用いて精力的かつ情熱的に生みだされ、世界中の人々に親しまれ愛されている。

本展では、高知県立美術館の優れたシャガール版画コレクションから、シャガールの生涯にわたる重要なモチーフのひとつであった、愛し合う幸せな恋人たちを描いた約100点の作品を展示し、シャガールの描いた、色彩豊かで甘美な、そして幻想的な恋人たちの愛の世界を紹介した。

<関連行事>

(1) 特別講演会 平成15年3月23日（日）

講 師 高知県立美術館長 鍵岡 正謹 氏

参加人数 40人

(2) ギャラリートーク（担当学芸員による展示解説）

会期中毎週土曜日、午後2時から

<出品目録>

セーヌの両河岸	マルク・シャガール	高知県立美術館蔵	〈アトリエの恋人たち〉		
〈花束と恋人たち〉			アトリエの光	マルク・シャガール	高知県立美術館蔵
恋人たち	マルク・シャガール	高知県立美術館蔵	光に満ちたアトリエ	〃	〃
遊覧船上の			アトリエの鳥	〃	〃
レセプション用メニュー	〃	〃	画家の妻	〃	〃
恋人たちの空（第1ステート）	〃	〃	よく見る夢	〃	〃
生きる喜び	〃	〃	三つの花束をもつ画家	〃	〃
夜の花束	〃	〃	〈窓辺の花と恋人たち〉		
果物籠と恋人たち	〃	〃	食卓	マルク・シャガール	高知県立美術館蔵
オレンジの木	〃	〃	セレストンの波止場	〃	〃
イヴ	〃	〃	小さな窓	〃	〃
たくさんの花	〃	〃	二つの花束と恋人たち	〃	〃
牧歌	〃	〃	青い花束	〃	〃
花咲く木I	〃	〃	赤い花	〃	〃
百合の小さな花束	〃	〃	幸福	〃	〃
恋人たちのテーブル	〃	〃	開いた窓	〃	〃
夢の青空	〃	〃	〈パリの恋人たち〉		
光の春	〃	〃	扇を手にした恋人たち	マルク・シャガール	高知県立美術館蔵
魔法の飛行	〃	〃	パリの空に	〃	〃

パリの夜	マルク・シャガール	高知県立美術館蔵
パリの夢	〃	〃
オペラ座	〃	〃
〈旧約聖書の中の恋人たち〉		
アダムとイヴと蛇	マルク・シャガール	高知県立美術館蔵
青い楽園	〃	〃
影と光	〃	〃
水浴するバテシバ	〃	〃
ダビデとバテシバ	〃	〃
バテシバの前のダビデ	〃	〃
ダビデの玉座	〃	〃
〈恋人たちのひととき〉		
鳥とカップル	マルク・シャガール	高知県立美術館蔵
灰色の恋人たち	〃	〃
会話	〃	〃
赤い太陽の恋人たち	〃	〃
青い馬と恋人たち(第2ステート)	〃	〃
カーテンの下の恋人たち	〃	〃
休息	〃	〃
青春	〃	〃
追憶	〃	〃
貿易風の悲歌	〃	〃
サーカス	〃	〃
緑と青の恋人たち	〃	〃
ヴァイオリン弾きの天使	〃	〃
室内	〃	〃
愛の夜明けに	〃	〃
春の追憶	〃	〃
天使たちのいる恋人たち	〃	〃
裸婦	〃	〃
逢引き	〃	〃
〈「ダフニスとクロエ」〉		
ダフニスとクロエー扉	マルク・シャガール	高知県立美術館蔵
ラモオンによるダフニスの発見	〃	〃
ドリュアスによるクロエの発見	〃	〃
ラモオンとドリュアスの夢	〃	〃
小牧場の春	〃	〃
狼を捕える農	〃	〃

泉のほとりのダフニスとクロエ	マルク・シャガール	高知県立美術館蔵
クロエの判断	〃	〃
クロエの接吻	〃	〃
ドルコオンの策略	〃	〃
真昼、夏	〃	〃
つばめ	〃	〃
ドルコオンの死	〃	〃
ニンフたちの洞穴	〃	〃
葡萄の収穫	〃	〃
フィレータスの果樹園	〃	〃
フィレータスの教え	〃	〃
メテュムナの若者たち	〃	〃
クロエの誘拐	〃	〃
ダフニスの夢とニンフたち	〃	〃
ブリュアクシス将軍の夢	〃	〃
ニンフたちへの奉納	〃	〃
牧神パンの饗宴	〃	〃
シュリンクスの伝説	〃	〃
冬	〃	〃
小鳥狩り	〃	〃
ドリュアス家での食事	〃	〃
春	〃	〃
ダフニスとリュカイニオン	〃	〃
木精	〃	〃
夏の季節	〃	〃
死せるイルカと三百エキュ	〃	〃
クロエ	〃	〃
果樹園	〃	〃
バックス神の物語と神殿	〃	〃
荒らされた花々	〃	〃
ダフニスとグナトオン	〃	〃
ディオニソファネースの到来	〃	〃
クリアリスティから着物を	〃	〃
着せられ髪を結ってもらうクロエ	〃	〃
祭の間に娘を見出すメガクレエス	〃	〃
ニンフたちの洞穴での婚礼の祝宴	〃	〃
結婚	〃	〃

4 教育普及活動

(1) 巡回展

展示テーマ	会期	会場	入館者数
鳥 取 県 の 自 然	14. 7.24 ～ 8. 6	祐 生 出 会 い の 館	160 人
	14. 8. 8 ～ 8.21	あ お や 郷 土 館	730
絵 は が き で 綴 る 鳥 取	14. 4. 6 ～ 4.24	気高町逢坂地区公民館	197
	14. 4.26 ～ 5. 8	東 郷 町 公 民 館	736
	14. 5.10 ～ 5.22	羽合町中央公民館	502
	14. 5.24 ～ 6. 5	関 金 町 資 料 館	124
鳥取県立博物館 所蔵美術品展	14.10.18 ～10.31	まなびタウンとうはく	350
	14.10.25 ～11. 4	淀江町歴史民俗資料館	863
	15. 2.13 ～ 3. 2	米 子 市 美 術 館	355
立 体 鑑 賞 ギ ャ ラ リ ー 旅行記とともに楽しむ。伊谷賢蔵 中南米・南欧の旅 素描展	14. 8.31 ～ 9.29	日 南 町 美 術 館	171
	15. 1.19 ～ 2.11	米 子 市 美 術 館	687
三重奏 鳥取県立博物館・倉吉 博物館・米子市美術館の コレクションでつくる展覧会 ー第1回 鳥取県の美術ー近代 の黎明から前田寛治までー	14.11.12～12. 1	倉 吉 博 物 館	957
合 計			5,832

(2) 天体観望会・見学会

事 業 名	期 日	場 所	参加人員
野 鳥 の 声 を 聞 く 会	1 4 . 4 . 1 7	鳥 取 市	14 人
春 の 星 を 見 る 会	1 4 . 5 . 1 2	博 物 館 前 庭	57
小学生のための体験考古学入門	1 4 . 5 . 2 5	鳥 取 市	20
夏 の 星 を 見 る 会 I	1 4 . 7 . 1 3	博 物 館 前 庭	中止
夏 休 み 鳥 取 城 探 検 隊	1 4 . 7 . 2 8	鳥 取 市	12
佐治川流域の岩石・化石について	1 4 . 8 . 4	佐 治 村	23
夏 の 星 を 見 る 会 II	1 4 . 8 . 1 0	博 物 館 前 庭	75
秋 の 星 を 見 る 会	1 4 . 1 0 . 5	〃	40
キノコを調べる会	1 4 . 1 0 . 6	関 金 町	46
合 計			287

(3) 講 演 会

演 題		期 日	参加人員
特別講演会 「世界一の望遠鏡すばる－すばるが解き明かす宇宙の謎－」	国立天文台岡山天体物理観測所 所長 吉 田 道 利	14. 4. 21	72 人
特別講演会 「伊谷賢蔵の人と芸術」	大阪市立近代美術館（仮称）建設準備室 研究主幹 熊 田 司	14. 4. 28	65
特別講演会 「古戦場の風景－史蹟をめぐる歴史意識－」	名古屋大学 教授 羽 賀 祥 二	14. 6. 8	86
特別講演会 「近代のヨーロッパ美術－エコール・ド・パリを中心に－」	愛媛県美術館 館長 原 田 平 作	14. 7. 28	58
特別講演会 「現代異界考」	国立歴史民俗博物館 助教授 常 光 徹	14. 9. 14	144
特別講演会 「古代エジプト文明の魅力」	早稲田大学 教授 吉 村 作 治	14. 12. 2	350
特別講演会 「国宝普賢菩薩の魅力」	東北大学大学院 教授 有 賀 祥 隆	14. 11. 3	90
特別講演会 「鳥取県の仏像」	京都大学 助教授 根 立 研 介	14. 11. 10	84
特別講演会 「フランス国内におけるアジア美術品のコレクションについて」	フランス国立 ギメ東洋美術館 中国美術部長 ジャン＝ポール・デロシュ	14. 11. 16	133
実演会 「九代目玉屋庄兵衛からくり人形実演会」	九代目 玉屋 庄兵衛 氏	14. 12. 22	450
特別講演会 「シャガール版画展－愛の世界－」	高知県立美術館 館長 鍵 岡 正 謹	15. 3. 23	40
合 計			1,577

(4) 講 座

	事 業 名	期 日	参加人員
自 然	化石レプリカを作ろう	14. 7. 21	54 人
〃	押し葉標本を作る会	14. 7. 27	36
〃	昆虫標本を作る会	14. 7. 27	36
〃	標本を調べる会	14. 8. 25	96
〃	学芸員講座「♂と♀のふしぎ」	14.12. 15	20
〃	学芸員講座「鳥取のオオバコ」	15. 1. 19	9
〃	学芸員講座「鳥取層群の化石」	15. 2. 16	43
人 文	学芸員講座「鳥取県の怪談」	14. 9. 28	97
〃	学芸員講座「伊福部氏系図について」	14.11. 24	84
〃	鳥取県の民話を聞く会	14.12. 14	30
〃	鳥取県の民話を聞く会	15. 1. 11	20
〃	学芸員講座「鳥取県の古瓦」	15. 1. 12	39
〃	学芸員講座「鳥取藩『御目付日記』を読む」	15. 3. 8	75
美 術	ギャラリートーク「土方稲嶺」	14. 4. 13	4
〃	博物館シアター「モネ」「マネ」	14. 4. 14	42
〃	ギャラリートーク「伊谷賢蔵 生誕百年記念展」 1	14. 4. 27	7
〃	ギャラリートーク「伊谷賢蔵 生誕百年記念展」 2	14. 5. 4	30

事業名		期 日	参加人員
美術	ギャラリートーク「伊谷賢蔵 生誕百年記念展」 3	14. 5. 11	30 人
〃	学芸員講座「伊谷賢蔵と山の絵画」	14. 5. 12	45
〃	ギャラリートーク「伊谷賢蔵 生誕百年記念展」 4	14. 5. 18	40
〃	博物館シアター「ゴッホ」「ゴーギャン」	14. 5. 19	36
〃	ギャラリートーク「片山楊谷」	14. 6. 1	17
〃	博物館シアター「プルシャンプルー」「ピカソ」	14. 6. 16	40
〃	ギャラリートーク「前田寛治Ⅰ」	14. 6. 22	2
〃	ギャラリートーク「島田元旦」	14. 7. 13	15
〃	ギャラリートーク「華やぐパリの芸術家たち展」 1	14. 7. 20	21
〃	博物館シアター「ミレー」「スーラ」	14. 7. 21	44
〃	ギャラリートーク「華やぐパリの芸術家たち展」 2	14. 7. 27	30
〃	ワークショップ「パリで話題のフランス額装入門」 1	14. 8. 3	24
〃	ワークショップ「パリで話題のフランス額装入門」 2	14. 8. 4	26
〃	ギャラリートーク「華やぐパリの芸術家たち展」 3	14. 8. 10	36
〃	サロンコンサート「フランス音楽を中心に」	14. 8. 11	190
〃	映画上映会「モンパルナスの灯」	14. 8. 17	250
〃	ギャラリートーク「華やぐパリの芸術家たち展」 4	14. 8. 24	37
〃	博物館シアター「マリー・ローランサン」「モディリアーニ」	14. 8. 25	62
〃	ギャラリートーク「前田寛治Ⅲ」	14. 9. 14	7
〃	博物館シアター「レオナルド・ダ・ヴィンチ」「ラファエロ」	14. 9. 15	76
〃	ギャラリートーク「沖一峨」	14. 9. 21	3
〃	ギャラリートーク「前田寛治と仲間たち」	14. 10. 19	7
〃	ギャラリートーク「前田寛治Ⅳ」	14. 12. 21	5
〃	ギャラリートーク「黒田稲臯」	15. 1. 11	5
〃	ギャラリートーク「小畑稲升」	15. 3. 1	8
〃	ギャラリートーク「シャガール版画展」 1	15. 3. 15	50
〃	ギャラリートーク「シャガール版画展」 2	15. 3. 22	20
〃	ギャラリートーク「シャガール版画展」 3	15. 3. 29	30
合 計			1,660

(5) 移動博物館

部 門	展 示 資 料	実施会場	会 期	参加人員	備 考
自 然	水生生物で水の汚れを調べよう！ 植物を組み立てて、観察しよう！	鳥 取 県 立 県民文化会館	14. 7.20	人 ー	第2回生涯学習フェスティバル「まなびピア鳥取in東部」
自然・人文	古代の生き物・生きている化石 鳥取県の年中行事	しらはま交流センター	14. 8.21～ 9. 2	631	
自 然	古代の生き物・生きている化石	日野町公民館	4. 9.19～10. 9	70	
自然・人文	古代の生き物・生きている化石 鳥取県の年中行事	岩美町立岩美北小学校	14.10.22～10.25	372	

(6) 出張美術教室

部 門	実施校等（市町村）		期 日	参 加 人 員	
美 術	岩 美 西 小 学 校	（岩美町）	14. 5.17	5年生（46名）	
”	宝 木 小 学 校	（気高町）	14. 6. 3	5、6年生（66名）	
”	上 道 小 学 校	（境港市）	14. 6.12	6年生（35名）	
”	河 崎 小 学 校	（米子市）	14. 6.13	5、6年生（94名）	
”	北 谷 小 学 校	（倉吉市）	14. 6.26	5、6年生（27名）	
”	勝 部 小 学 校	（青谷町）	14. 7. 5	全校生徒（39名）	
”	若 桜 中 学 校	（若桜町）	14. 7. 9	1、2年生（96名）	
”	鳥 取 聾 学 校	（国府町）	14. 9.10	中学部（6名）	
”	山 上 小 学 校	（日南町）	14. 9.17	全校生徒（31名）	
”	明 倫 小 学 校	（江府町）	14. 9.18	全校生徒（31名）	
”	明 治 小 学 校	（鳥取市）	14. 9.19	4,5,6年生（21名）	
”	中 山 中 学 校	（中山町）	14. 9.26	全校生徒（173名）	
”	浜 坂 小 学 校	（鳥取市）	14.10.15	6 年生（78名）	
”	会 見 第 二 小 学 校	（会見町）	14.10.16	全校生徒（17名）	
”	大 栄 小 学 校	（大栄町）	14.11. 5	6 年生（110名）	
”	鳥 取 養 護 学 校	（鳥取市）	14.11. 7	全校生徒（51名）	
”	県庁職員文化祭 2002	（ 県 庁 ）	14.11.12	県職員及び県職員OB（約100名）	
”	倉 吉 養 護 学 校	（倉吉市）	14.11.19	中学部（30名）	
”	倉 吉 東 高 等 学 校	（倉吉市）	14.11.21	1 年生選択美術（59名）	
”	南 小 学 校	（三朝町）	14.11.26	全校生徒（42名）	
”	津 ノ 井 小 学 校	（鳥取市）	14.12. 3	5、6年生（81名）	
”	富 沢 小 学 校	（智頭町）	14.12. 5	全校生徒（54名）	
”	八 東 中 学 校	（八東町）	15. 3.13	選択美術（22名）	
合 計	23	箇 所	延23市町村	23 日	1,309人

(5) 資料の貸出

品 名	数量	規格・銘柄	貸付期間	貸 出 し 先	貸付の目的
動 物 標 本	9 ^点	剥製等	14. 7.10 ～14. 9. 6	北条町歴史民俗資料館	「蜘蛛ヶ家山の自然」 展に展示するため
哺 乳 類 化 石	3	化石	14. 7.15 ～14.10.23	長野市立博物館	特別展で展示する ため
化 石 レ プ リ カ の 型	50	シリコン	14. 7.21 ～14.8. 3	米子市青少年少女 科学教室	地学講座で使用する ため
動 物 標 本	9	剥製等	14.10. 8 ～14.11.20	米子水鳥公園 ネイチャーセンター	展示会で展示する ため
始 祖 鳥	1	化石複製	14.10. 8 ～14.10.15	第17回国民文化祭 米子市実行委員会	「鳥のフェスティバル」 展に展示するため
拡 大 ル ー ペ	1	光学機器	14.10.31 ～14.11. 4	鳥取県農林水産部	「ふるさと～食の祭典 ～」で使用するため
植 物 標 本	8	複製	14.11.30 ～14.11.30	鳥取県生活環境部 環境政策課	シンポジウムで展 示するため
拡 大 ル ー ペ	2	光学機器	15. 1.30 ～15. 3.10	鳥取市歴史博物館	展示会で使用する ため
中井金三《バラ》、他	7	カンヴァス・ 油彩	14. 1. 2 ～14. 4. 9	鳥取県総務部管財課長	知事公邸展示
狩 野 益 信 《梅二寿老人図》、他	6	絹本著色、 他	14. 1.30 ～14. 4.17	(財)因幡街道ふる さと振興財団	「石谷家の美術」
中 井 金 三 《校庭の桜》、他	7	カンヴァス・ 油彩、他	14. 4. 9 ～14. 6.28	鳥取県総務部管財課長	知事公邸展示
佐伯祐三《オーヴェールの教会》 里見勝蔵《マリーヌの記念》	2	カンヴァス・ 油彩	14. 6. 8 ～14. 9.21	安田火災東郷青児美術館	「ヴラマンク・里見勝 蔵・佐伯祐三展」展
國 領 經 郎 《絵のある坐像》他	8	カンヴァス・ 油彩	14. 6.27 ～14. 8. 8	酒田市美術館	「國領經郎展—酒田市 美術館新収蔵品紹介展—」
安 岡 信 義 《夏の河岸》、他	7	カンヴァス・ 油彩、他	14. 7. 1 ～14.10. 4	鳥取県総務部管財課長	知事公邸展示
松 田 晃 八 《八頭の山》、他	21	カンヴァス・ 油彩、他	14. 7.29 ～14. 9.10	みささ美術館	「郷土の画家が描いた ふるさとの山並み展」
沖 一 峨 《草薙に三顧之図》、他	5	絹本著色、 他	14. 9.10 ～14.11.30	鳥取市歴史博物館	「江戸時代、『諸国』 繚乱」
辻晋堂《寒山》《拾得》	2	陶	14. 9.27 ～14. 2. 3	岐阜県現代陶芸美術館	「現代陶芸の100年 展」
伊 谷 賢 蔵 《大山秋色》、他	7	カンヴァス・ 油彩、他	14.10. 7 ～14.12.27	鳥取県総務部管財課長	知事公邸展示
前田寛治《子供の像》 《田舎の子》、他	13	カンヴァス・油 彩、紙・インク	14.10.21 ～14.11.15	北条町歴史民俗資料館長	「前田寛治絵画展- 描かれた人物-」
前 田 利 三 《 女 》	7	カンヴァス・ 油彩、他	15. 1. 6 ～15. 3.28	鳥取県総務部管財課長	知事公邸展示
前 田 寛 治 《 花 と 子 供 等 》	1	カンヴァス・ 油彩	15. 2. 4 ～15. 4.14	静岡県立美術館	「きらめく光—日本と ヨーロッパの点表現」
因幡国庁出土墨書土器等	43	考古資料	14. 4. 1 ～15. 3.31	因幡万葉歴史博物館	同館常設展示
西桂見墳丘墓出土 特殊脚付壺等	3	考古資料	14. 4. 8 ～14. 6. 7	滋賀県立 安土城考古博物館	「共に—女子を立て— 卑弥呼政権の成立展」
鳥取城下町絵図等	10	絵図、古文書、 絵はがき	14. 5.25 ～14. 6.21	鳥取市歴史博物館	「橋谿のあゆみと ホタル」展
銅 鐸 レ プ リ カ	1	考古資料	14. 7.22 ～14. 8.27	鳥取県埋蔵文化セン ター	移動展「長瀬高浜 遺跡再発見」
写 真 パ ネ ル	15	写真パネル	14. 8.28	鳥取県生活協同組合	「2002 親と子の 戦争展」
丙午浦港入津記図等	11	藩政資料	14. 9.20 ～14.11.30	横浜マリタイム ミュージアム	企画展「ペリー来航前 後の江戸湾の海防
鳥取城下之図等	16	絵図、岡嶋家 資料、陶器	14. 9.30 ～14.11.30	鳥取市歴史博物館	「江戸時代、『諸 国』繚乱」展

5 調査研究活動

(1) 調査研究

分野	事項
地学	鳥取層群及び三郡変成帯における化石に関する調査研究
動物	鳥取県の動物相及び分類に関する調査研究 鳥取県沿岸の漂着動物に関する調査研究
植物	鳥取県に産する植物の分布に関する調査研究
考古	鳥取県内の古瓦について調査研究
民俗	三徳山三仏寺に関する調査研究
歴史	鳥取藩政資料及びそのデジタル化に関する調査研究 鳥取県の仏像に関する調査研究
美術	鳥取県に関係した文化財、美術資料、ゆかりの作家・作品等についての調査研究 平成15年度特別展「よみがえる仏像」企画展「ルオー版画展」「鳥取の美術家シリーズ（仮称）」等についての調査研究

(2) 研究報告等の刊行

刊行物の名称	発行時期	回数	発行部数	規格	ページ数
博物館年報 No. 30	15年3月	1回	400部	A 4	43ページ
郷土と博物館 第48巻	15年3月	1	1,000	A 5	44
研究報告 No. 40 平尾和幸・広田昌昭： 鳥取県八頭郡船岡町の三郡変成帯 から見つかったコノドントと放散 虫について 清末幸久：鳥取県におけるツボミオ オバコの消長 清末幸久：[短報] 鳥取県岩美町にお けるマルバアキグミの記録 福代 宏：野間宗蔵の「怪談記」について	15年3月	1	500	B 5	49
鳥取県立博物館所蔵 古代寺院関係資料目録	15年3月	1	500	A 4	180